

日本芸術文化振興会理事長コメント

文化芸術活動への助成に係る審査・評価に関する調査研究会からの報告書を受けて

日本芸術文化振興会では、文化審議会文化政策部会の「審議経過報告」に基づき、本振興会が行う文化芸術活動に対する助成事業をより効果的なものとするために必要な方策について調査研究を行うこととし、昨年12月に「文化芸術活動への助成に係る新たな審査・評価に関する調査研究会」を立ち上げました。

以来9回にわたって議論が重ねられ、この度、同調査研究会の報告書を受け取ったところであります。

この報告書の内容を十分踏まえ、文化庁等とも協議し、プログラムディレクター及びプログラムオフィサーの配置など、必要な方策を講じ、新たな審査・評価の仕組みを試行してまいりたいと考えております。

平成23年6月10日

独立行政法人日本芸術文化振興会

理事長 茂木 賢三郎